

少年院出身者の全国サポートネットワーク「セカンドチャンス！」設立記念イベント
シンポジウム「少年院からの社会復帰と当事者支援の可能性」 へのお誘い

「少年院の出院者こそ、少年院から出てきた若者を支えられる」という信念に基づき、2009年1月に誕生した少年院出身者の全国サポートネットワーク「セカンドチャンス！」では、この2年間、少年院での講話や行事への参加、各地での交流会の開催など、自分たちの思いを綴った書籍の出版など、活動を積み重ねてまいりました。2年という節目に、私たちの活動の意義について、より多くの方々と一緒に考えるシンポジウムを開催することにいたしましたので、ここにお知らせいたします。

日時 1月15日（土）1月16日（日）

場所 立教大学池袋キャンパス 14号館（〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1）

アクセスマップ

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/pmap/ikebukuro.html>

キャンパスマップ

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>

《スケジュール》

1月15日（土）

12:15 受付開始

13:00 オープニングセッション「セカンドチャンス！設立の趣旨と経緯」

13:45 基調講演 1

シャッド・マルナさん クイーンズ大学ベルファスト校教授（北アイルランド）

犯罪者の立ち直りに関する専門家。リヴァプールの犯罪者をインタビューし、立ち直った犯罪者と犯罪を続けている犯罪者の違いを描きだした好著、『まき直し（Making Good）』でアメリカ犯罪学会賞を受賞。

15:30 メインセッション 1

「当事者が語ることの意味：自分の当事者から社会の当事者へ」

ゲスト 川寄竜希さん 少年院出身者の元プロボクサー

元暴力団員で、十代で二度の少年院を経験。少年院出院後、ボクシング、恋人、家族の支えにより立ち直る。現在は飲食店で働く傍ら、格闘技ジムで指導をしている。また、少年院での講演活動も積極的に行っている。

17:45 終了

18:00 懇親会（希望者のみ 参加費 2000円）

1月16日（日）

8:30 受付開始

9:00 基調講演 2

クリスター・カールソンさん 刑務所出所者による支援組織・KRIS 理事長（スウェーデン）

30年の服役を終え、三人の仲間とともに、KRISを立ち上げた。KRISは、現在、スウェーデ

ンに 29 の支部、5500 人の会員を有する。

10:45 メインセッション 2

「社会の理解をどのように深めるか」

13:15 分科会

分科会 1 「出会いと居場所の大切さ」

分科会 2 「少年はいつ立ち直るか」

分科会 3 「少年院の処遇に対する「セカンドチャンス！」のかかわり方」

分科会 4 「当事者組織と多機関・団体連携」

分科会 5 「少年院…家族の思いや不安を語り合う」

分科会 6 「もう刑務所には戻らない：成人当事者の支援組織レガーロ」

15:15 クロージングセッション

16:00 終了

《申し込み方法》

はがき・ファクス・メールのいずれかに、シンポジウム「少年院からの社会復帰と、当事者支援の可能性」参加希望と書いた上で下記にお申し込みください。

締め切り：2011年1月10日（月曜日）必着

- ① 氏名（ふりがな）
- ② 所属
- ③ 郵便番号・住所
- ④ 電話番号
- ⑤ メールアドレス
- ⑥ （16日の）参加希望分科会（第1希望と第2希望まで）
- ⑦ 懇親会参加希望の有無

●はがき宛先：

〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田 52-1 静岡県立大学 津富宏

●ファックス番号：FAX：054-264-5268

●メール：second.chance.event2011@gmail.com

■主催

特定非営利活動法人セカンドチャンス！

■後援

法務省、東京都青少年・治安対策本部、朝日新聞社、(財)社会安全研究財団、(社)日本社会福祉士会、日本犯罪社会学会、日本司法福祉学会、NPO法人非行克服支援センター、NPO法人のむぎ地域教育文化センター、「非行」と向き合う全国ネット、被害者と司法を考える会、触法少年研究会

■助成

日本学術振興会平成21-23年度科学研究費補助金『犯罪者（特に、少年犯罪者）の社会復帰に関する理論的検討とアクションリサーチ』（基盤研究B課題番号21330133）

日本犯罪社会学会